

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2000-43448(P2000-43448A)

【公開日】平成12年2月15日(2000.2.15)

【出願番号】特願平10-228594

【国際特許分類第7版】

B 4 2 D 11/00

【F I】

B 4 2 D 11/00

E

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月7日(2005.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配達伝票(2)が、一方を送り状用紙(4)に、他方を受領書用紙(5)に分離可能に形成したものであり、上記送り状用紙の裏面に接着剤を塗布し、上記受領書用紙の裏面に剥離剤を塗布し、上記配達伝票は2枚の用紙を使用し、上記送り状用紙の接着剤塗布面を他の配達伝票の剥離剤塗布面に、上記受領書用紙の剥離剤塗布面を他の配達伝票の接着剤塗布面にいずれも剥離可能に接着し、上記受領書用紙の剥離剤塗布面をセパレータ紙として作用させることを特徴とする伝票類。

【請求項2】

受領書用紙(5)には、裏面縁部に接着剤が塗布されていることを特徴とする請求項1に記載の伝票類。

【請求項3】

第1用紙(10)の全面に接着剤を塗布し、第2用紙(20)の全面に剥離剤を塗布し、上記第1用紙の接着剤塗布面と上記第2用紙の剥離剤塗布面を剥離可能に接着し、次いで上記第2用紙に中央切込み(22)と両側縁に側部切込み(23)をいずれも上記第1用紙の接着剤塗布面に達するまで入れて当該第2用紙を4つの部材に区画し、上記中央切込みに隣接するいずれか一方の上記第2用紙の部材(20a)並びに該部材の反対側となる縁部材(20d)を反転して上記第1用紙の接着剤塗布面に剥離不能に接着し、当該第2用紙に、全面に接着剤を塗布した新たな第1用紙を接着して、上記第2用紙は反転させた部材を剥離可能に接着し、他の部材は剥離不能に接着し、次いで上記第2用紙の上記中央切込みを挟んでその両側近傍に全用紙を貫通する中央ミシン目(30)と上記側部切込みの内側にこれも全用紙を貫通する側部ミシン目(31)を入れ、上記第1用紙を分離して接着剤が塗布された区域を送り状用紙(4)に使用し、剥離剤が塗布された区域を受領書用紙(5)に使用することを特徴とする伝票類の製造方法。

【請求項4】

第2用紙(20)は、両側縁部に第1用紙(10)の接着剤に達する側部切込み(23)を入れ、いずれか一方の縁部材を反転して上記第1用紙に接着したことを特徴とする請求項3に記載の伝票類の製造方法。

【請求項5】

第2用紙(20)の表裏両面に接着された状態の第1用紙(10)は、側縁部分をわずかに切落して上記第2用紙との間に段差を設けたことを特徴とする請求項3に記載の伝票

類の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

しかし、セパレータ紙は、用紙と同じか又はそれ以上の大きさに形成されているので、用紙を使用した分だけセパレータ紙が廃棄物として捨てられている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

配送業務に使用する配送伝票がタック紙で形成されており、このうち、「送り状」と「受領書」がミシン目などにより切離し可能に接続されていて、「送り状」は裏面に接着剤が塗布された状態でセパレータ紙に剥離可能に接着され、「受領書」は剥離不能に接着されているものがある。このため、上記した配送伝票は、セパレータ紙が廃棄される分だけ資源が有効に活用されていないという問題がある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

解決手段の第1は、配送伝票が、一方を送り状用紙に、他方を受領書用紙に分離可能に形成したものであり、上記送り状用紙の裏面に接着剤を塗布し、上記受領書用紙の裏面に剥離剤を塗布し、上記配送伝票は2枚の用紙を使用し、上記送り状用紙の接着剤塗布面を他の配送伝票の剥離剤塗布面に、上記受領書用紙の剥離剤塗布面を他の配送伝票の接着剤塗布面にいずれも剥離可能に接着し、上記受領書用紙の剥離剤塗布面をセパレータ紙として作用させることを特徴とするものである。

また、解決手段の第1において、受領書用紙には、裏面縁部に接着剤が塗布されていることを特徴とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

解決手段の第1では、送り状用紙と受領書用紙を有する配送伝票の当該送り状用紙の裏面に接着剤を塗布したものであるが、該接着剤塗布面は、受領書用紙の裏面に塗布した剥離剤に剥離可能に接着しているので、伝票が接着剤塗布面を有しながら、セパレータ紙を不要としたものであって、省資源効果を奏するものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

解決手段の第2は、第1用紙の全面に接着剤を塗布し、第2用紙の全面に剥離剤を塗布し、上記第1用紙の接着剤塗布面と上記第2用紙の剥離剤塗布面を剥離可能に接着し、次いで上記第2用紙に中央切込みと両側縁に側部切込みをいずれも上記第1用紙の接着剤塗布面に達するまで入れて当該第2用紙を4つの部材に区画し、上記中央切込みに隣接するいずれか一方の上記第2用紙の部材並びに該部材の反対側となる縁部材を反転して上記第1用紙の接着剤塗布面に剥離不能に接着し、当該第2用紙に、全面に接着剤を塗布した新たな第1用紙を接着して、上記第2用紙は反転させた部材を剥離可能に接着し、他の部材は剥離不能に接着し、次いで上記第2用紙の上記中央切込みを挟んでその両側近傍に全用紙を貫通する中央ミシン目と上記側部切込みの内側にこれも全用紙を貫通する側部ミシン目を入れ、上記第1用紙を分離して接着剤が塗布された区域を送り状用紙に使用し、剥離剤が塗布された区域を受領書用紙に使用することを特徴とするものである。

解決手段の第2において、第2用紙は、両側縁部に第1用紙の接着剤に達する側部切込みを入れ、いずれか一方の縁部材を反転して上記第1用紙に接着したことを特徴とするものである。

また、解決手段の第2において、第2用紙の表裏両面に接着された状態の第1用紙は、側縁部分をわずかに切落して上記第2用紙との間に段差を設けたことを特徴とするものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

解決手段の第2では、製造工程中に、第1用紙の全面に接着剤を塗布し、第2用紙の全面に剥離剤を塗布し、上記第1用紙の接着剤塗布面と上記第2用紙の剥離剤塗布面を剥離可能に接着し、次いで上記第2用紙に中央切込みと両側縁に側部切込みをいずれも上記第1用紙の接着剤塗布面に達するまで入れて当該第2用紙を4つの部材に区画し、上記中央切込みに隣接するいずれか一方の上記第2用紙の部材並びに該部材の反対側となる縁部材を反転して上記第1用紙の接着剤塗布面に剥離不能に接着し、当該第2用紙に、全面に接着剤を塗布した新たな第1用紙を接着して、上記第2用紙は反転させた部材を剥離可能に接着し、他の部材は剥離不能に接着した工程を含んでいるから、2枚の伝票を接着剤塗布面と剥離剤塗布面とを剥離可能に接着することができ、接着剤塗布面を有していくながら伝票どおしがセパレータ紙としての作用するので、従来のような廃棄されるセパレータ紙が不要となり、省資源型の伝票が得られる効果がある。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【発明の効果】

本発明は、送り状用紙と受領書用紙に分離可能に区分した伝票が、送り状用紙の裏面に接着剤を塗布し、受領書用紙の裏面に剥離剤を塗布し、2枚の伝票を接着剤塗布面と剥離剤塗布面とを剥離可能に接着したものであるから、接着剤塗布面を有していくながら伝票どおしがセパレータ紙としての作用を奏するので、従来のような廃棄されるセパレータ紙が不要となり、資源を有効に活用できる効果がある。

また、本発明は、送り状用紙と受領書用紙に分離可能に区分した伝票が、送り状用紙の裏面に接着剤を塗布し、受領書用紙の裏面に剥離剤を塗布し、2枚の伝票を接着剤塗布面と剥離剤塗布面とを剥離可能に接着したものであって、その製造工程中に、第1用紙の全

面に接着剤を塗布し、第2用紙の全面に剥離剤を塗布し、上記第1用紙の接着剤塗布面と上記第2用紙の剥離剤塗布面を剥離可能に接着し、次いで上記第2用紙に中央切込みと両側縁に側部切込みをいずれも上記第1用紙の接着剤塗布面に達するまで入れて当該第2用紙を4つの部材に区画し、上記中央切込みに隣接するいずれか一方の上記第2用紙の部材並びに該部材の反対側となる縁部材を反転して上記第1用紙の接着剤塗布面に剥離不能に接着し、当該第2用紙に、全面に接着剤を塗布した新たな第1用紙を接着して、上記第2用紙は反転させた部材を剥離可能に接着し、他の部材は剥離不能に接着した工程を含んでいるから、2枚の伝票を接着剤塗布面と剥離剤塗布面とを剥離可能に接着することができ、接着剤塗布面を有していながら伝票どおしがセパレータ紙としての作用するので、従来のような廃棄されるセパレータ紙が不要となり、省資源型の伝票が得られる効果がある。